

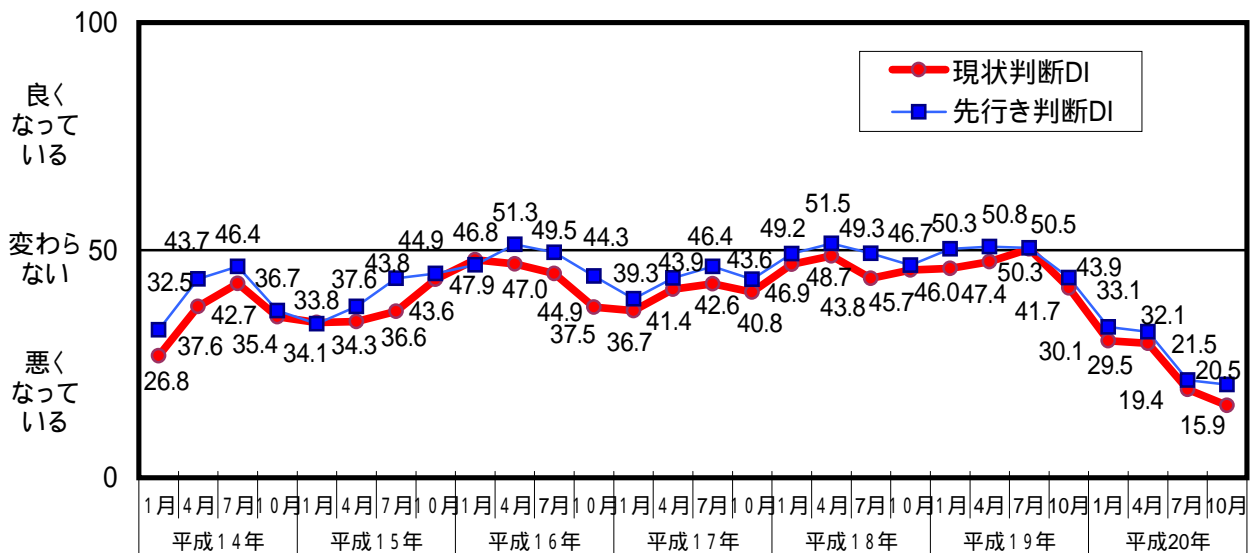
青森県景気ウォッチャー調査 (平成20年10月期)

調査期間 平成20年10月1日～10月16日 回答率99%

概 況

10月期は、景気の現状判断DIが5期連続、先行き判断DIが6期連続低下し、いずれも5期連続で横ばいを示す50を下回った。

景気現状判断DI・先行き判断DIの推移



平成20年11月

青森県企画政策部統計分析課

青森県景気ウォッチャー調査について

1. 調査の目的

統計データには表れないきめ細かな生活実感のある情報を収集し、県内景気動向判断の基礎資料とする。

2. 調査の実施概要

(1) 調査の範囲

県内を東青地区、津軽地区、県南地区、下北地区の4地区に分け、各地域における経済活動の動向を敏感に観察できる業種の中からおよそ30業種を選定し、そこに従事する100名を調査客体とする。

地域別・分野別の客体数

地区	対象地域	調査客体数			
		合計	家計	企業	雇用
東青	青森市とその周辺部	30	23	4	3
津軽	弘前市、黒石市、五所川原市とその周辺部	30	22	6	2
県南	八戸市、十和田市、三沢市とその周辺部	30	21	7	2
下北	むつ市とその周辺部	10	9	1	0
計		100	75	18	7

(2) 調査事項

3か月前と比べた景気の現状判断とその理由

3か月後の景気の先行き判断とその理由

(参考) 景気の水準判断

(3) 調査期日等

四半期に一度(1月、4月、7月、10月)実施し、翌月初旬に公表。

3. DIの算出方法

5段階の判断にそれぞれ以下の点数を与え、これらに各判断の構成比(%)を乗じて、DIを算出する。

評価	良くなっている	やや良くなっている	変わらない	やや悪くなっている	悪くなっている
点数	1	0.75	0.5	0.25	0

(本調査についてのお問い合わせ先)

〒030-8570 青森県企画政策部統計分析課 統計情報分析グループ
 TEL 017-734-9165(直通)又は017-722-1111(内線2189)
 FAX 017-734-8038

1. 結果概要

(1) 3か月前と比べた景気の現状判断DI

県全体の動向

前期調査と比べると、「悪くなっている」が9.1ポイント増加したことにより、全体では3.5ポイント減の15.9となり、5期連続で横ばいを示す50を下回った。

判断理由をみると、食料品をはじめとする諸物価の高騰や世界的金融情勢の不安定により消費が低迷しているとの意見が多かったほか、需要低迷による出荷量の伸び悩みや仕入れ価格の上昇、経費の増加による企業収益の悪化、また、消費動向の低下による売り上げ・利益の減少をあげる声があった。

分野別の動向

前期調査と比べて、家計関連で4.3ポイント、雇用関連で3.6ポイント減少した。企業関連は前期と同ポイントとなった。

地区別の動向

前期調査に比べて、全ての地区においてポイントが減少し、全地区において横ばいを示す50を下回った。

(2) 3か月後の景気の先行き判断DI

県全体の動向

前期調査と比べると、「やや良くなる」が2.0ポイント、「悪くなる」が6.0ポイント増加したことにより、全体では前期を1.0ポイント下回る20.5となり、5期連続で横ばいを示す50を下回った。

判断理由を見ると、秋から年末にかけて景気対策による消費回復を期待する声がある一方、灯油需要期を迎え他の消費の落ち込みを懸念する声や県内の大型倒産の影響を懸念する声が多かった。

分野別の動向

前期調査に比べて、企業関連で1.4ポイント増加したが、家計関連で1.3ポイント、雇用関連で3.5ポイント減少した。

地区別の動向

前期調査に比べて、津軽、下北地区においてポイントが増加したが、東青、県南地区においてはポイントが減少し、全地区において横ばいを示す50を下回った。

2. 県全体の動向

(1) 3か月前と比べた景気の現状判断

DI

n=99

	平成19年 10月	平成20年 1月	平成20年 4月	平成20年 7月	平成20年 10月
合 計	41.7	30.1	29.5	19.4	15.9
家計関連	39.5	30.4	32.1	20.9	16.6
小売	38.8	26.7	37.1	20.0	15.8
飲食	29.2	33.3	33.3	22.7	18.2
サービス	46.3	30.6	25.9	18.5	14.8
住宅	33.3	45.0	33.3	33.3	25.0
企業関連	50.0	30.6	25.0	15.3	15.3
雇用関連	42.9	25.0	14.3	14.3	10.7

回答別構成比(%)

	平成19年 10月	平成20年 1月	平成20年 4月	平成20年 7月	平成20年 10月
良くなっている	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
やや良くなっている	13.1	9.1	5.1	1.0	0.0
変わらない	49.5	24.2	29.3	15.2	12.1
やや悪くなっている	28.3	44.4	44.4	44.4	39.4
悪くなっている	9.1	22.2	21.2	39.4	48.5

(2) 3か月後の景気の先行き判断

DI

n=99

	平成19年 10月	平成20年 1月	平成20年 4月	平成20年 7月	平成20年 10月
合 計	43.9	33.1	32.1	21.5	20.5
家計関連	42.2	33.1	33.8	22.6	21.3
小売	41.4	24.2	34.5	21.7	21.7
飲食	31.3	37.5	41.7	22.7	20.5
サービス	48.1	39.8	28.7	21.3	21.3
住宅	41.7	40.0	37.5	33.3	20.8
企業関連	48.6	30.6	23.6	16.7	18.1
雇用関連	50.0	39.3	35.7	21.4	17.9

回答別構成比(%)

	平成19年 10月	平成20年 1月	平成20年 4月	平成20年 7月	平成20年 10月
良くなる	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
やや良くなる	15.2	8.1	9.1	2.0	4.0
変わらない	54.5	34.3	31.3	20.2	18.2
やや悪くなる	21.2	39.4	38.4	39.4	33.3
悪くなる	9.1	18.2	21.2	38.4	44.4

3. 地区別の動向

(1) 3か月前と比べた景気の現状判断

< 東青地区 >

DI

n=30

	平成19年 10月	平成20年 1月	平成20年 4月	平成20年 7月	平成20年 10月
合 計	41.7	30.0	25.8	20.8	15.0
家計関連	40.2	30.4	29.3	23.9	16.3
小売	38.9	25.0	38.9	22.2	13.9
飲食	33.3	25.0	25.0	25.0	16.7
サービス	44.4	33.3	25.0	22.2	13.9
住宅	37.5	50.0	12.5	37.5	37.5
企業関連	56.3	31.3	18.8	18.8	18.8
雇用関連	33.3	25.0	8.3	0.0	0.0

回答別構成比 (%)

	平成19年 10月	平成20年 1月	平成20年 4月	平成20年 7月	平成20年 10月
良くなっている	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
やや良くなっている	10.0	6.7	0.0	0.0	0.0
変わらない	56.7	30.0	30.0	23.3	16.7
やや悪くなっている	23.3	40.0	43.3	36.7	26.7
悪くなっている	10.0	23.3	26.7	40.0	56.7

< 津軽地区 >

DI

n=30

	平成19年 10月	平成20年 1月	平成20年 4月	平成20年 7月	平成20年 10月
合 計	34.2	28.3	32.5	13.3	11.7
家計関連	31.8	30.7	31.8	12.5	11.4
小売	27.8	25.0	36.1	16.7	13.9
飲食	25.0	50.0	33.3	8.3	8.3
サービス	40.6	28.1	28.1	9.4	9.4
住宅	25.0	37.5	25.0	12.5	12.5
企業関連	37.5	25.0	37.5	12.5	8.3
雇用関連	50.0	12.5	25.0	25.0	25.0

回答別構成比 (%)

	平成19年 10月	平成20年 1月	平成20年 4月	平成20年 7月	平成20年 10月
良くなっている	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
やや良くなっている	0.0	10.0	3.3	0.0	0.0
変わらない	53.3	20.0	36.7	6.7	3.3
やや悪くなっている	30.0	43.3	46.7	40.0	40.0
悪くなっている	16.7	26.7	13.3	53.3	56.7

< 県南地区 >

D I

n=30

	平成19年 10月	平成20年 1月	平成20年 4月	平成20年 7月	平成20年 10月
合 計	50.0	37.1	30.2	25.0	23.3
家計関連	47.5	37.5	35.0	27.4	25.0
小売	50.0	36.1	40.6	25.0	22.2
飲食	41.7	41.7	33.3	25.0	41.7
サービス	50.0	35.7	21.4	25.0	21.4
住宅	37.5	50.0	62.5	50.0	25.0
企業関連	57.1	35.7	21.4	17.9	21.4
雇用関連	50.0	37.5	12.5	25.0	12.5

回答別構成比 (%)

	平成19年 10月	平成20年 1月	平成20年 4月	平成20年 7月	平成20年 10月
良くなっている	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
やや良くなっている	31.0	13.8	13.8	3.3	0.0
変わらない	37.9	31.0	13.8	16.7	20.0
やや悪くなっている	31.0	44.8	51.7	56.7	53.3
悪くなっている	0.0	10.3	20.7	23.3	26.7

< 下北地区 > (参考)

D I

n=9

	平成19年 10月	平成20年 1月	平成20年 4月	平成20年 7月	平成20年 10月
合 計	40.0	15.0	30.0	16.7	8.3
家計関連	38.9	13.9	33.3	18.8	9.4
小売	41.7	8.3	25.0	8.3	8.3
飲食	16.7	16.7	41.7	37.5	0.0
サービス	58.3	16.7	33.3	16.7	16.7
住宅	-	-	-	-	-
企業関連	50.0	25.0	0.0	0.0	0.0
雇用関連	-	-	-	-	-

回答別構成比 (%)

	平成19年 10月	平成20年 1月	平成20年 4月	平成20年 7月	平成20年 10月
良くなっている	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
やや良くなっている	10.0	0.0	0.0	0.0	0.0
変わらない	50.0	0.0	50.0	11.1	0.0
やや悪くなっている	30.0	60.0	20.0	44.4	33.3
悪くなっている	10.0	40.0	30.0	44.4	66.7

(2) 3か月後の景気の先行き判断

< 東青地区 >

DI

n=30

	平成19年 10月	平成20年 1月	平成20年 4月	平成20年 7月	平成20年 10月
合 計	42.5	33.3	29.2	25.0	16.7
家計関連	41.3	35.9	33.7	28.3	19.6
小売	47.2	30.6	30.6	25.0	16.7
飲食	33.3	33.3	58.3	25.0	16.7
サービス	36.1	41.7	30.6	27.8	25.0
住宅	50.0	37.5	25.0	50.0	12.5
企業関連	50.0	25.0	18.8	12.5	6.3
雇用関連	41.7	25.0	8.3	16.7	8.3

回答別構成比 (%)

	平成19年 10月	平成20年 1月	平成20年 4月	平成20年 7月	平成20年 10月
良くなる	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
やや良くなる	13.3	6.7	10.0	3.3	3.3
変わらない	56.7	36.7	26.7	26.7	13.3
やや悪くなる	16.7	40.0	33.3	36.7	30.0
悪くなる	13.3	16.7	30.0	33.3	53.3

< 津軽地区 >

DI

n=30

	平成19年 10月	平成20年 1月	平成20年 4月	平成20年 7月	平成20年 10月
合 計	42.5	30.8	33.3	15.0	19.2
家計関連	39.8	29.5	33.0	14.8	15.9
小売	36.1	19.4	38.9	22.2	19.4
飲食	25.0	50.0	50.0	16.7	33.3
サービス	50.0	31.3	18.8	6.3	3.1
住宅	37.5	37.5	37.5	12.5	25.0
企業関連	45.8	33.3	33.3	12.5	33.3
雇用関連	62.5	37.5	37.5	25.0	12.5

回答別構成比 (%)

	平成19年 10月	平成20年 1月	平成20年 4月	平成20年 7月	平成20年 10月
良くなる	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
やや良くなる	16.7	6.7	3.3	0.0	0.0
変わらない	46.7	30.0	43.3	10.0	23.3
やや悪くなる	26.7	43.3	36.7	40.0	30.0
悪くなる	10.0	20.0	16.7	50.0	46.7

< 県南地区 >

D I

n=30

	平成19年 10月	平成20年 1月	平成20年 4月	平成20年 7月	平成20年 10月
合 計	48.3	36.2	37.9	27.5	26.7
家計関連	46.3	35.0	40.0	28.6	29.8
小売	40.6	22.2	43.8	22.2	30.6
飲食	41.7	41.7	33.3	25.0	25.0
サービス	57.1	46.4	35.7	35.7	32.1
住宅	37.5	50.0	50.0	37.5	25.0
企業関連	53.6	32.1	21.4	25.0	14.3
雇用関連	50.0	62.5	75.0	25.0	37.5

回答別構成比 (%)

	平成19年 10月	平成20年 1月	平成20年 4月	平成20年 7月	平成20年 10月
良くなる	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
やや良くなる	17.2	13.8	17.2	3.3	10.0
変わらない	62.1	34.5	27.6	30.0	16.7
やや悪くなる	17.2	34.5	44.8	40.0	43.3
悪くなる	3.4	17.2	10.3	26.7	30.0

< 下北地区 > (参考)

D I

n=9

	平成19年 10月	平成20年 1月	平成20年 4月	平成20年 7月	平成20年 10月
合 計	40.0	30.0	20.0	11.1	16.7
家計関連	41.7	30.6	22.2	12.5	18.8
小売	41.7	25.0	8.3	8.3	16.7
飲食	25.0	25.0	25.0	25.0	0.0
サービス	58.3	41.7	33.3	8.3	33.3
住宅	-	-	-	-	-
企業関連	25.0	25.0	0.0	0.0	0.0
雇用関連	-	-	-	-	-

回答別構成比 (%)

	平成19年 10月	平成20年 1月	平成20年 4月	平成20年 7月	平成20年 10月
良くなる	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
やや良くなる	10.0	0.0	0.0	0.0	0.0
変わらない	50.0	40.0	20.0	0.0	22.2
やや悪くなる	30.0	40.0	40.0	44.4	22.2
悪くなる	10.0	20.0	40.0	55.6	55.6

4. 判断理由

(1) 景気の現状判断理由

現状	分野	地区	業種	理由
変わらない	家計	東青	競輪場	入場者、売り上げが変化なし、横バイ状態。
			設計事務所	悪いまま推移して来た。
			乗用車販売	販売が思うようにならない。
		津軽	スーパー	食料品の値上が今だにつづき、お客様の買い控えが目立つ。又、酒類部門では、ケース売りよりバラ売り、6缶パックが売れている。
		県南	レストラン	経済の悪化が報じられる中、景気が安定しはじめている様に見える。
			家電量販店	景気の上向きになる話が回りから聞こえて来ない。生活用品、食品も値上げしたまま、これから灯油など出費が大きくなって来ている。
			一般飲食店	自店から見れば横ばいだが、低レベルの横ばいです。UPする要因があまりにも見あたらない。
			旅行代理店	原油価格下落しガソリン価格は低下して来ているものの、食料品の値上がりは依然続いており、また既に一旦値上がりした生活関連物資の価格は戻らない。
			観光名所等	普段の売上は伸びませんが、近くの町村で文化祭り等のイベントがある日は、行き帰りのお客様で賑わいます。その日は売上もいいです。10、11月は期待できるかなあと考えています。
		企業	東青	建設
やや悪くなっている	家計	東青	観光名所等	原油高の影響は少なからず尾を引いている感じがします。
			百貨店	従来、ボリュームゾーンとして見なしていた商品のプライスゾーンが下方にシフトし、かつ、買上げ平均単価が下がってきている。高額品との二極分化が進む中で、総体、マクロでとらえた付加価値商材の購買力は低下していると感じられる。
			卸売業	値上げ商品続出により消費者の買い控え。
			住宅建設販売	ガソリン、灯油、食料品の高騰による財布のヒモがますますかたくなっている。新築住宅、青森市内、2年前より持家約20%減。
			家電量販店	食品部門は好調だが、生活必需品以外の部門が落ち込んでいる。(生活防衛意識の高まり)
			旅行代理店	米国および世界的な不況で先の見えない不安がある。
			タクシー	件数、売り上げともジリ貧。
		津軽	百貨店	原油高や食品の値上げに比べ、米国の金融危機や中国食品の危険性がマスコミにより報じられ、消費意欲がますます減退している。
		観光型ホテル・旅館	個人・グループはもちろん団体のお客様も、依然として減少傾向にある。客単価もかなり下がっている。	

現状	分野	地区	業種	理由
やや悪くなっている	家計	津軽	美容院	農家の繁忙期もかさなり、お客の出足がわるい。暇である。
			住宅建設販売	企業倒産、件数及び負債総額等かなり増えている。
			旅行代理店	消費力が落ちている。街全体に活気がない。
		県南	衣料専門店	御買物の仕方も何度も足を運んでから品物を選ぶとか単品買いが増えています。
			ガソリンスタンド	諸物価が上昇している。
			スーパー	物価高の与件は当然としても、マスコミ報道があり、消費者心理は更に冷えこんでいる。
			設計事務所	少しずつではあるが悪い方向に進んでいる。
			百貨店	アパレル特に婦人服全体が大幅な低下をおこし、兆しが見えない。食料品は、順調に推移するも、食の安全に対する懸念もあり、将来が不安で政治・経済どの部分を見ても不安でならない。
			観光型ホテル・旅館	観光ホテルでは2度の地震による風評被害が大きく、業績が悪化。政治の混乱やガソリン価格の上昇、サブプライムローンなどの先行き不透明感も不安要素。
			コンビニ	依然ガソリン、燃料費、食品、衣料、交通費等のさまざまな値上げ、高騰が目立つ。収入が変わらないのでは、景気回復は望めない！
		住宅建設販売	銀行の融資がつかなくて契約にならないケースが増えている。銀行の融資が厳しくなっている。	
		スナック	悪くなる一方です。皆様もご存じの通り、何もかも値上げで。	
	下北	スーパー	客数の減。衣料品、婦人の売上不振。	
		タクシー	ガソリン価格の高騰が消費者物価に波及した分、購買力が低迷しハイタクの乗控にも大きく影響したと思います。	
		ガソリンスタンド	石油価格の高騰の影響か、買い控えも含め、お客様の来店回数が減っている。	
	企業	東青	広告・デザイン	金・プラ買い取りなど一部の業種は元気。総じて消費が伸びず、それがそのまま広告費に反映。物価の上昇や景気の先行き不安などが原因かと思われる。
			津軽	経営コンサルタント
		県南	広告・デザイン	見積依頼件数及び受注件数が増えていない。
			経営コンサルタント	世界的金融情勢が不安定で消費が低迷している上に金融機関の貸出しが渋くなっている。
電気機械製造			米の金融危機問題で物が売れなくなってきた。取引先から不安の話をよく聞きます。経営層の意識が下り坂に向かっていると感じます。この影響は今後徐々に現れてくる。	
建設			リーマンブラザーズの破綻をはじめとする世界金融危機による日本経済、地域経済への影響が大いに心配される。	
紙・パルプ製造		原燃料価格高が継続する中、需要の低迷から製品出荷量が伸び悩んでいる。		

現状	分野	地区	業種	理由
やや悪くなっている	企業	県南	食料品製造	国内の人口減に加え、世界的に経済の減速感が強まり、国内の消費者心理が冷えているから。
			飲料品製造	得意先はますます在庫をしぼり、季節商材を案内しても反応がにぶい。「何をしても・・・」という雰囲気はただよっている。
	雇用	津軽	人材派遣	最近、日常会話でよく話題になるのが、生活必需品をはじめ、ものの値段が著しく上がっているから、出来るだけ買い物を控えようという会話が交わされる。
			新聞社求人広告	諸物価の高騰で消費者が財布のひもを緩める気配は一向にない。企業も積極的に広告を打って販促策に出るより、「今はじっと耐える時」という風潮すらある。広告・折り込みチラシの売り上げに、これがはっきりと表れている。
		県南	人材派遣	人材派遣業界については、一連の報道の如く依然として厳しい。
悪くなっている	家計	東青	コンビニ	世界金融不安がかけめぐり、どう考えても良くなるようそがみつからない。
			パチンコ	売上げ、利益の減少。
			スーパー	値上の他に、株価の下落、アメリカ経済等、不安材料が多すぎる。
			衣料専門店	昨対比から7月はバーゲン時期でありながら売上、客数、客単価 過去に例がなく下がっている。8月は閑散期であり分母が低くかろうじて昨対比100%。9月、衣料品販売にとっては先物買いであり シーズンの動向を計る時期であるが昨年続き不振、秋冬物の売れ行きが心配である。
			ガソリンスタンド	株価暴落に表われているように企業倒産も着実に増している。
			商店街	世界同時不況に突入するかのよう報道が相次ぎ、消費マインドの冷え込みは悪い方向につき進んでいる。
			都市型ホテル	仕入価格の上昇、経費の増加による収益の悪化。先が見えない状況の為、消費控えによる売上の減少。
			スナック	お客様からの良いお話は全くなし。時間の問題です。一体どうなっている事でしょう。私達の飲食業も大変、毎日泣いて、真剣に考えている状況です。
			レストラン	景気が良くなっている店があったら、おしえてください。
			美容院	灯油、ガソリン等の値上げが昨年とは比べものにならない。
			観光型ホテル・旅館	本年は、2度の地震、ガソリン価格の高騰とトリプルパンチで最近にない悪さと思っています。
		津軽	パチンコ	売上が思う様にのびない。
			タクシー	景気の冷え込みで必要ない物には支出していない。タクシーも必需品の中に入っていないと思われる。
			観光名所等	諸物価値上り、今後も値上り予想。県内企業の倒産や民事再生。
			スナック	弘前の鍛冶町は人が歩いてない。昨年にくらべても半分もない。売り上げが足りない。
			衣料専門店	・客足の減少 ・カード売上の減少

現状	分野	地区	業種	理由
悪くなっている	家計	津軽	一般飲食店	3ヶ月前より、まだ悪くなっていると思います。毎月、毎月の値上げで購買力は下がっています。
			家電量販店	倒産の倒産による機運悪化連鎖。
			ガソリンスタンド	石油業です。倒産した県内石油小売り大手を見て業界が良いか悪いかかわかると思います。
			商店街	相次ぐ物価の値上げで消費の買い控え傾向が見受けられる事が来街者数にも影響を与えている。
			一般小売店	買い方がシビアになって、単価が下がってきている。諸物価の値上げにつき、生活防衛は当然の動きである。
			設計事務所	すべての物価が上がり、経済政策に対する無策がもろに出ているので、上向きになる要素が何も見えない。
			都市型ホテル	レストラン等の客単価の低下、宴会1件あたりの客数の低下が見られる。
			コンビニ	事業所の閉鎖がまた目についてきた。
	県南	乗用車販売	自動車業界においては、昭和49年以来の低水準の販売台数まで落ち込み、3年連続のマイナスとなり、急に浮上するとは考えにくい。	
		美容院	来店頻度がかなり落ちている。1ヶ月だったのが、2ヶ月以上、延びている。継続店販だけで、新規お買上げがない。	
		パチンコ	売上は減少。前回は記入しましたが、娯楽業である為、1番に出費を控えると思う。食料品の値上げをはじめ、生活のゆとりはなくなり、お客様が減るのは当然のことと思われる。	
		タクシー	生活用品等の値上げで、みなさん四苦八苦している。	
		卸売業	石油高騰に端を発し、物価が上昇しており、消費が低迷している。	
		下北	レストラン	県内のスタンド突然の営業停止、従業員又お客様にも迷惑な事だ。
			一般小売店	原油高（ガソリン、灯油高）の影響が、まだまだ大きいです。
			スナック	夜の町に人がでてこない。
	コンビニ		冬を間近に迎えて、灯油代が重くのしかかってくるのか、消費が冷え込んでいる。	
	都市型ホテル		石油の高騰、岩手県地震による旅行者の減少。	
	企業	東青	食料品製造	1.地価、株価以外の全ての物品が値上げ傾向にあり、企業収益及び家計を圧迫している。2.消費低迷、価格競争激化に拍車がかかる。
			経営コンサルタント	民間建設公共工事共期待が持てない。物価の上昇は個人消費の減退を招いている。雇用情勢も弱い状況が続いている。津軽地域はりんごの天候被害の影響も大きい。
津軽		電気機械製造	4月以降、徐々に受注が減少し、北京オリンピック終了後は更に減少しています。	
		飲料品製造	原油高騰に伴い、資材等業者より値上依頼が来ている。	

現状	分野	地区	業種	理由
悪くなっている	企業	津軽	食料品製造	アメリカのサブプライム問題が世界経済に暗い影をおとして、経済の行きづまりを感じる。
		県南	広告・デザイン	紙の高騰他材料の値上げ等により、コスト（仕入）が上がり、販売価格も上げざるを得ない状況なのに、値上げ出来ず、利益が減る一方となっているのが現状・・・。
		下北	食料品製造	確実に消費動向が落ちている。値上げの嵐で、ついでの買い物がなくなっている。割引するとそれなり売れるが、利益につながらない。
	雇用	東青	新聞社求人広告	景気を引っ張るリード役を担う業種が見当たらない状況が続いていて、県内石油販売会社大手の破たんによる影響も懸念される。
			人材派遣	米金融危機の影響もあって輸出が一層減少。原材料高価格に貸し出しは抑制が加わり、中小企業を圧迫しつつある。庶民生活にまちがいなく陰を落としている。
		県南	新聞社求人広告	株安、円高による経済不安。

(2) 景気の先行き判断理由

先行き	分野	地区	業種	理由
やや良くなる	家計	東青	パチンコ	秋から年末にかけて、景気対策がとられ、一時的にしる多少消費が回復すると思う。
		県南	美容院	景気優先政策と、秋に入り、婚礼や文化的催事や年末に近づく需要拡大を望んでいる。気候次第も影響する。
			一般小売店	今より悪い情況(状況)を考えたくない。今が最低だと思いたい。
変わらない	家計	東青	競輪場	変動要素が見当らず。
			タクシー	現状から見て、良くなる要因はない。
		津軽	レストラン	年末の売上げ予想がつきにくい。
			スナック	良くなってもらいたいが、何の目標もないです。春まで店もやってみるが、8月9月と赤字です。
		県南	家電量販店	景気の上向きになる点が見あたらない。
			タクシー	これから景気が上向くような話がなければ、起爆剤もない。
			観光名所等	普段の売上は伸びませんが、近くの町村で文化祭り等のイベントがある日は、行き帰りのお客様で賑わいます。その日は売上もいいです。10、11月は期待できるかなと思っています。
		コンビニ	今、社会的な部分で、自分たち国民から見た場合、日本の政治・政府は政権交代ばかりで具体的・実践的な改革を何もしていない。目に見えて来ない!もっと国民、消費者の気持ちになって行政を行なってもらいたい!	
		下北	タクシー	ガソリン価格は落ちつきをみせているが、他の物価は高止まりの状態と金融問題は完全解決に至らず、これから年末に向け企業は金づまりからボーナス等に影響が出ると思います。
			ガソリンスタンド	石油価格は値下がりしているが、まだ昨年と比べるとまだ高いので、会計に影響があると思われる。
	企業		津軽	電気機械製造
	企業	津軽	食料品製造	明るい話が聞こえてこない。
			飲料品製造	先行きが見えなくて不安。
雇用			県南	新聞社求人広告
やや悪くなる	家計	東青	観光名所等	商品に対する割引の要望が多くなってきました。物価高騰により先行きが不安です。
			コンビニ	政治も不透明で、財政不安、破綻企業が続出する中で、どうして景気回復が考えられるでしょう。

先行き	分野	地区	業種	理由	
やや悪くなる	家計	東青	百貨店	経済状況の悪化傾向の進行に加え、本格的秋冬シーズンの到来により、嗜好品・付加価値商材は、今以上に減じる傾向があらわれと思います。	
			住宅建設販売	住宅需要減少傾向、賃貸物件の充実。ますます、住宅の価値感の低下。今の生活が精一杯感が強まるのではないかと。	
			乗用車販売	買い控えがあるような気がする。必要でないものは控えている。	
			卸売業	値上げ商品続出により消費者の買い控え。	
			旅行代理店	ガソリン高の為、マイカー利用の個人旅行が落ちている。	
		津軽	百貨店	生活防衛の意識が定着し、買い控えと低価格志向がますます根付くと考えられる。	
			家電量販店	世界的な金融問題の不透明感が今よりは多少緩和されているのではないかと。	
			住宅建設販売	株価暴落、金融システムの崩壊により、今後の日本経済に対して希望がぜんぜん持たなくなっている。	
			設計事務所	すべての物価が上がり、経済政策に対する無策がもろに出ているので、上向きになる要素が何も見えない。政治家の無策が続く限り、国民の立場に立った経済政策がない。	
			旅行代理店	天候不順による農業主体の収入源の落ち込みが津軽の場合、他の業種にも影響が出てくる。	
		県南	レストラン	今年は、雪深いというわさもあり、あまり集客が見込めない。灯油もまだ値上がりすると思われるので、一般家庭のおさいふもきびしそう。	
			設計事務所	新首相の景気対策を信じたいが、まだ具体的ではないので。	
			スーパー	経済状況プラスと件何もない。	
			ガソリンスタンド	建設関係の仕事が少ない。	
			一般飲食店	経済状況の不安が消費をおさえたいえるのでは。益々サイフのヒモがかたくなるようだ。	
			観光型ホテル・旅館	厳しい状況が続くと思われるが、ガソリン価格の上昇がとりあえず落ちついて来たことは良いニュース。	
			住宅建設販売	お客様の消費や購入を刺激する材料が少ない。	
			スナック	物価の値上ラッシュで苦しいと思われます。	
		下北	スーパー	灯油の値上りから、他の商品消費の減が考えられる。生活防衛から本当に必要な物しか買わない。	
			一般小売店	最近、原油も少しは値下がりしてきましたが、これから冬に向い、灯油の消費が増えてきます。消費にまわすお金が減るはず。所得が伸び悩んでいる中、灯油だけでも数年前の水準になってほしいものです。	
		企業	東青	広告・デザイン	国の景気対策次第だが、見通しが不透明。

先行き	分野	地区	業種	理由
やや悪くなる	企業	津軽	経営コンサルタント	今現在世界的な株安など心理的に冷え込んできている。
			広告・デザイン	毎年、秋期は仕事量が多いが、今年は全く上向きになる兆しが見受けられない。
		県南	電気機械製造	産業用製品は景気の冷えこみの影響をすでに受けています。設備投資がないので一般製品もだんだん売れなくなると思われます。（現在すでに欧米向けは製造がストップしています。）
			飲料品製造	値上げによって消費はますます減り、必要最低限の商品しか購入されないだろう。嗜好品であるとなおさらである。年末商戦も盛りあがりにかけるのではないか。
			食料品製造	国内の人口減に加え、世界的に経済の減速感が強まり、国内の消費者心理が冷えている状況が、しばらく継続すると思うから。
			紙・パルプ製造	製品需要が低迷しており、業界各社で減産の動きが出ている。経済・政治の先行きが不透明で、更なる落ち込みも懸念される。
	雇用	東青	人材派遣	企業の業績悪化が続く今日、3ヶ月先の景気の回復は見えない。
		津軽	新聞社求人広告	諸物価の高騰で消費者が財布のひもを緩める気配は一向にない。企業も積極的に広告を打って販促策に出るより、「今はじっと耐える時」という風潮すらある。広告・折り込みチラシの売り上げに、これがはっきりと表れている。
		県南	人材派遣	昨今の金融危機を踏まえ、人材ビジネスにかかわらず、工場はじめ冷えこむだろう。
悪くなる	家計	東青	レストラン	良くなる方法があるならおしえてほしい!!
			衣料専門店	6月の燃料騒動は尾を引いているようです、自転車通勤に変えた話をよく聞きます。他都市からの来店客がめっきり減っている。消費の冷え込みを感じる。又、事業主さんの来店が減っている。景気の悪さも実感できる。
			家電量販店	大型倒産が相次ぎ、個人消費の低迷にますます拍車がかかる。
			商店街	ガソリン価格は若干落ちつきを取り戻したものの、それでも前年と比べると高めになっており、これからの灯油需要期を考えると、それ以外の出費の抑止は避けられないのではないか。
			スナック	確実に悪くなっていると思う。助けて下さいよ。とにかくお金がまわりません。まだまだ倒産の会社が出てくると思う。私達も明日は我が身です。
			都市型ホテル	将来が不透明で不安要素はたくさんあるが、好転する材料が見あたらない。
			ガソリンスタンド	実需が回復するまでには、3ヶ月以上を要する。
			設計事務所	グローバル規模の金融破綻、株安、地元企業の相次ぐ倒産等重くのしかかるムードは耐えがたいものがある。この先、何が起こるか期待出来そうに無い。
			観光型ホテル・旅館	現在の状況に重ね合わせて、冬となると油（灯油）が家計を圧迫し、増々、私達観光業の者には厳しい状況になると思われます。
			美容院	株価の下落が倒産にはく車をかけるようになり、不安材料が多すぎるため消費行動に限りを感じる。

先行き 悪くなる	分野 家計	地区 津軽	業種	理由
			パチンコ	1. 灯油等物価の上昇。 2. 不急の消費をひかえる様になる。
			都市型ホテル	10～12月の宴会の予約の動きが、鈍い。(特に小口の忘年会)
			タクシー	どの業界の人の話を聞いても、いい話が聞こえてこないため。
			美容院	県内・市内の大型企業の倒産は大きな消費不安につながる。
			観光名所等	諸物価値上り、今後も値上り予想。県内企業の倒産や民事再生。
			衣料専門店	冬期に向い、灯油の高値等があり文化・趣味に目が向けにくい状況。
			ガソリンスタンド	金融機関の貸ししづりがありそうな気がする。(同業者の大型倒産で)
			商店街	ガソリンが多少値下げになって来ているが、物価が下落するとは想像しがたい。
			一般小売店	スーパー・オフィス機器文具卸・石油小売り大手の大型倒産により悪影響の波及が広がると思う。
			一般飲食店	津軽地方は農業によって経済が成り立っていると思うのですが、今年は災害が一難去ってまた一難と農家の人達も大変です。
			観光型ホテル・旅館	冬期はスキーシーズンに入りますが、スキー客はほとんどが日帰りのため、宿泊や食事のお客は期待できません。不況の今、雪の中、温泉地まででかける人口は減少傾向にあると思われます。
			コンビニ	・地元大手の倒産 ・年金からの保険料天引
		県南	衣料専門店	株安の連鎖は止まらず金融不安で、増々サイフのヒモが堅くなりそうです。個人消費の冷え込みが続きそうです。
			パチンコ	政治・経済どの要素をとっても、当面回復する見込みはなし。地域的に考えても、冬を迎え、灯油代等暖房費出費があり、ますます客数は減少すると思う。
			旅行代理店	アメリカ金融システム不安の長期化、世界経済への影響も早く、景気後退は避けられないと思われる。燃油サーチャージの高止まりから、海外旅行の不振も続くし、国内旅行についても停滞感が強まっていくのではないかと考える。
			百貨店	アパレル特に婦人服全体が大幅な低下をおこし、兆しが見えない状況や食料品は、順調に推移するも、食の安全に対する懸念もあり、将来が不安で政治・経済どの部分を見ても不安でならない状況が、さらに悪化すると予想される。
			卸売業	サブプライム問題により、金融不安や政治の混乱により、景気が悪くなっている。
		下北	都市型ホテル	閑散期に入り、ますます宿泊客が減ってしまうから。
			レストラン	物価高、収入は減、出費を抑えてはいるものの先が不安です。
			スナック	これがいいという業種が見当らず。

先行き	分野	地区	業種	理由
悪くなる	家計	下北	コンビニ	原油高、商品の値上、まったく上に向く状態ではない。
	企業	東青	食料品製造	原油高の影響による消費低迷が続くもの考える。
			建設	解散総選挙の結果に大きく支配されるが、いずれの政党がなったとしても建設関連の積極投資は無い。
			経営コンサルタント	中小企業の体力勝負は今後も続き、脱落するところも出てくるものと見られる。一服しつつあるとはいえ石油価格の上昇は冬場を迎え消費の先行きを暗くしている。米の豊作に期待したいが価格が気になるところである。
		県南	経営コンサルタント	世界的金融情勢が不安定で益々景気が悪くなる。
			広告・デザイン	世界経済の不安定が、民間企業への不安を仰いでいる空気を感じる。その中で仕事を受注するため価格競争がさらに激化している。
			建設	貸し渋り、不動産業界の倒産多発による連鎖、株価低迷、信用収縮、リストラ、諸物価値上りによる消費力の低迷etc
		下北	食料品製造	良い要素が見いだせない。
	雇用	東青	新聞社求人広告	自動車関連の求人が不景気下で激減の様相をみせはじめており、加えて不動産、建設業関連企業の動きにブレーキがかかっているように見える。
		津軽	人材派遣	今まで経験したことのない株価の暴落、企業の倒産、資源材料価格の高騰など、直近の経済のマイナス材料ばかり。このような状況下では、先行き景気は大幅に下降するのではないかと。特にこれから本格的な需要期を迎える、石油価格の高騰はまさに懐に直撃です。

5 . 参考

(参考 1) 景気の現状判断

D I

n=99

	平成19年 10月	平成20年 1月	平成20年 4月	平成20年 7月	平成20年 10月
合 計	32.8	24.2	20.5	16.9	11.6
家計関連	32.1	23.6	20.9	17.9	12.5
小売	32.8	20.8	23.3	15.8	13.3
飲食	25.0	31.3	25.0	20.5	15.9
サービス	36.1	25.0	15.7	17.6	8.3
住宅	25.0	15.0	25.0	25.0	20.8
企業関連	36.1	27.8	20.8	15.3	9.7
雇用関連	32.1	21.4	14.3	10.7	7.1

回答別構成比 (%)

	平成19年 10月	平成20年 1月	平成20年 4月	平成20年 7月	平成20年 10月
良い	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
やや良い	9.1	3.0	1.0	1.0	0.0
どちらとも言えない	31.3	24.2	15.2	11.1	9.1
やや悪い	41.4	39.4	48.5	42.4	28.3
悪い	18.2	33.3	35.4	45.5	62.6

地区別 D I

	平成19年 10月	平成20年 1月	平成20年 4月	平成20年 7月	平成20年 10月
合 計	32.8	24.2	20.5	16.9	11.6
東青	34.2	20.8	15.8	16.7	10.0
津軽	25.8	21.7	21.7	10.8	5.8
県南	40.5	31.9	25.9	25.0	20.8
下北	27.5	20.0	15.0	11.1	5.6

(参考2) その他自由意見

分野	地区	業種	自由意見
家計	東青	コンビニ	物価が上昇し、家庭生活も圧迫し始めています。サイフのひもがきついのではなく、本当に家計が苦しいと実感しています。
		衣料専門店	紳士服販売を通して、6月までサラリーマンの必需品スーツ等は単価が下がっているが数量は売れていた。しかし、地方大手銀行のクールビズ宣言から民間企業が一齐にクールビズに移行し売上には大打撃であった。それに変わるであろう商品は単価が低く売上をカバーできない。中心商店街区での動向、青森市昭和通り商店街では新規店舗が5店、移転が1店、撤退が1店で空き店舗率が下がっている。東青地域県民局指導で農産品の販売を青森市の新町商店街で定期的に関催され好評だ。中心街区の新しい使い方、情報発信の有効性を感じる。
		家電量販店	本体より詰め替え、大容量より小容量等商品単価の低額志向が見られる。
		レストラン	まわりを見回しても悪くなる一方だと思います。
		スナック	私達の飲食業、家賃は下げない、酒代は上がる一方、飲食代は下る一方。本当にふんだりけったりの仕事でも、数でこなせばいいのかなとあきらめて頑張っているのです。たまには、県・市職員がもっと町を歩いてほしいですね。私達のお仕事は、ストレス発散の場所なので、仲間と楽しく語り合う社交場です。銀行は、貸ししづりから貸し止まりなんですよ。とにかくとにかく大変です。どうかして下さい。仲間達泣いている毎日です。
		旅行代理店	50代の旅行者は少し減少しているが、60代以上の方が、高額でも内容の良い旅行ならば人気がある。
		タクシー	景気のいい、明るい話題は全くなし。
		美容院	倒産などによる関連企業の倒産が次々と思いが、金融業界の安定がない限り、倒産が続くのではないかと思う。
		住宅建設販売	年内で住宅ローン減税の終了。年内入居以外受けられないので、国でも需要拡大を図るべく、延長・改正が必要ではないかと思う。
	津軽	一般小売店	若い人たちが年金のことに全く信頼を置いていないようだし、実際現在発覚しているゴマカシで日本の将来が心配である。このような社会では財布のヒモがかたくなる一方であろう。
		都市型ホテル	景気が悪いとはいえ、高単価であるディナーショーのチケットの売れゆきが昨年より良い。
		観光名所等	近くにあるスーパーの倒産で、周辺のお年寄り住民が買物をするのに不自由をしている。
		旅行代理店	国の施策が地方にどのような形で影響が出てくるか注目しています。
		ガソリンスタンド	県内石油小売り大手倒産の影響が今冬の灯油の供給に不安が出るかもしれない。
		住宅建設販売	規模も大きく、安定企業だと思っていた身近な会社の倒産で自分の勤務先もいつどうなるのかと不安だらけ。
	県南	百貨店	我々業界の主力である婦人服が大打撃で、紳士や子供よりも苦戦するという、過去にあまり経験のない不況が長期化している。(ミセス以上・・・年金問題からか?)

分野	地区	業種	自由意見	
家計	県南	衣料専門店	ある会社でブランドをへらす動きがあり、又リストラがありそうです。増えるようです。	
		一般小売店	最悪の状況だとは思いますが、唯一の救いは春から夏にかけて、ガソリン1L200円も有り得ると報じられていたのが、灯油を使う冬を前に何とか沈静化に向かった事です。	
		商店街	当商店街では、本年度(4月~)から「十三日の市」を組合員のみならず、当街区の商店達と協力し、市日周知目的の為の新聞広告掲載とイベントを開催。当月は「十三日町の健康まつり」。献血車&医療機関にご協力いただき盛況に終える事ができました。連休最終日でしたが、人通りも多く、商店によっては通常の1.5倍と好評でした。そして、各街区の市日を定着させる事により、中心街への来街者を増やしたい。	
		卸売業	景気対策を実行しないと、さらに景気が悪化すると考える。	
		一般飲食店	政治手腕に期待するしかない。行政が民間をサポートするのが大事。行政、民間の知恵の出し合いが不可欠。	
		スナック	スーパーに行くとも物がなんでも高くなり、石油も。こんな生活にどうしてどういう風になれたらいいでしょう。	
		観光名所等	最近、店によくセールスが来ます。パンフレットを置かせて下さいとか、商品を置かせて下さい、会員の人たちに勧めて下さい等。業績を上げるために一生懸命なんですね。良い時は何もなくても売れたのに。断わっても、また来ます。必死なんですよ、みんな。	
		タクシー	世の中、政治で騒ごうが経済で騒ごうが、自分の生活を守る為に必死です。もっと民のことを考えてもらいたい。	
		美容院	街全体の購買力、消費活動が鈍化してる様です。総選挙や補正予算の中味(期日)が不安定も景気にひびいていそう。	
		パチンコ	本調査の景気ウォッチャーになって以来、質問に対して「やや悪くなっている」「悪くなっている」以外に回答したことがない。景気は回復するのだろうか?良くなしてほしいと願いつつ、この状況では調査の意味があるのだろうかと思っています。	
	住宅建設販売	使っていない住宅や不動産を安くてもよいから売って現金をもっていたいというお客様が増えてきた。		
	下北	スーパー	1.取引先倒産 2.仕入価格の高騰	
		レストラン	社会保険庁の年金の改ざん。よい話しは見えません、聞こえてきません。いつまで続くのか、この先不安です。	
		スナック	政治が悪い。	
		タクシー	下北縦貫道の計画はよく知らないが、むつではさっぱり進んでいる様子が見えない。原子力施設と併せて考えれば、もっと重要な道路と思いますが、早い完成をお願いしたい。	
		ガソリンスタンド	最近、特に、昼間なのに、夜中の様に街中が静まりかえることが多くなった。	
	企業	東青	食料品製造	価格破壊による企業淘汰が進んでゆく。
			建設	経済的に厳しい事もあり、会話の内容が暗い。
			経営コンサルタント	県内中小企業の先行に見通しのつくまで県信用保証協会の保証枠増額が図れないか。

分野	地区	業種	自由意見	
企業	東青	広告・デザイン	・県外企業の県内営業の活発化 ・県内企業の県外営業の活発化 ・業種や地域とか関係なく、ピンポイントで伸びている企業がでてきた。	
		津軽	電気機械製造	アメリカの金融機関の破綻が今後日本経済にどのような影響を与えるのか不安です。
			建設	米国の金融不安が全世界へ影響を及ぼしている今日このごろですが、株価は直接関係ないが、物価にしわ寄せがきているのが大変です。先日の県内石油小売り大手の倒産、灯油の前売りを買わされた人達はどうか救済されるのか。明日は我が身、気をつけようにもどうすればいいのか不安でいっぱい。
			経営コンサルタント	青森県の経済が回復する前にまた不況が来そうだ。
			広告・デザイン	現政府の地方重視の姿勢、景気回復への政策等これまでの政府方針より、大分期待がもてる様に思える。即実行し期待を裏切らない様に願いたい。
	県南	食料品製造	ガソリンを含めた燃油が値下がりしている。(消費減による在庫余剰感あり)	
		飲料品製造	景気がいいのか悪いのか、ホテル、マンション、アパートなど建設されているのが、多く見うけられる。多すぎる。	
		電気機械製造	自動車産業は利益は少ないが、安定した受注がある。地元の中小企業を育てていけば青森にもチャンスはあると思う。しかし、今のところ、地元企業を育てる県や市の施策が弱くて不十分なのはとても残念に思い、より一層の支援を期待します。	
		経営コンサルタント	政治が不安定で前向きな政策がまったく無い。	
		広告・デザイン	行政の仕事の発注の仕方に不平等さを感じるという意見が色々なところから聞かれ、すでに発注先が決まっているのに、形状のプレゼンテーションをしているのではという意見が多い。	
	下北	食料品製造	国として、早く経済政策を打ち出してから解散してほしい。	
	雇用	津軽	新聞社求人広告	米国発の不況要因が、本格的に日本経済に及ぼす影響が出始めるとみられ、いつ底を打つか予想がつかない怖さがつきまとう。